

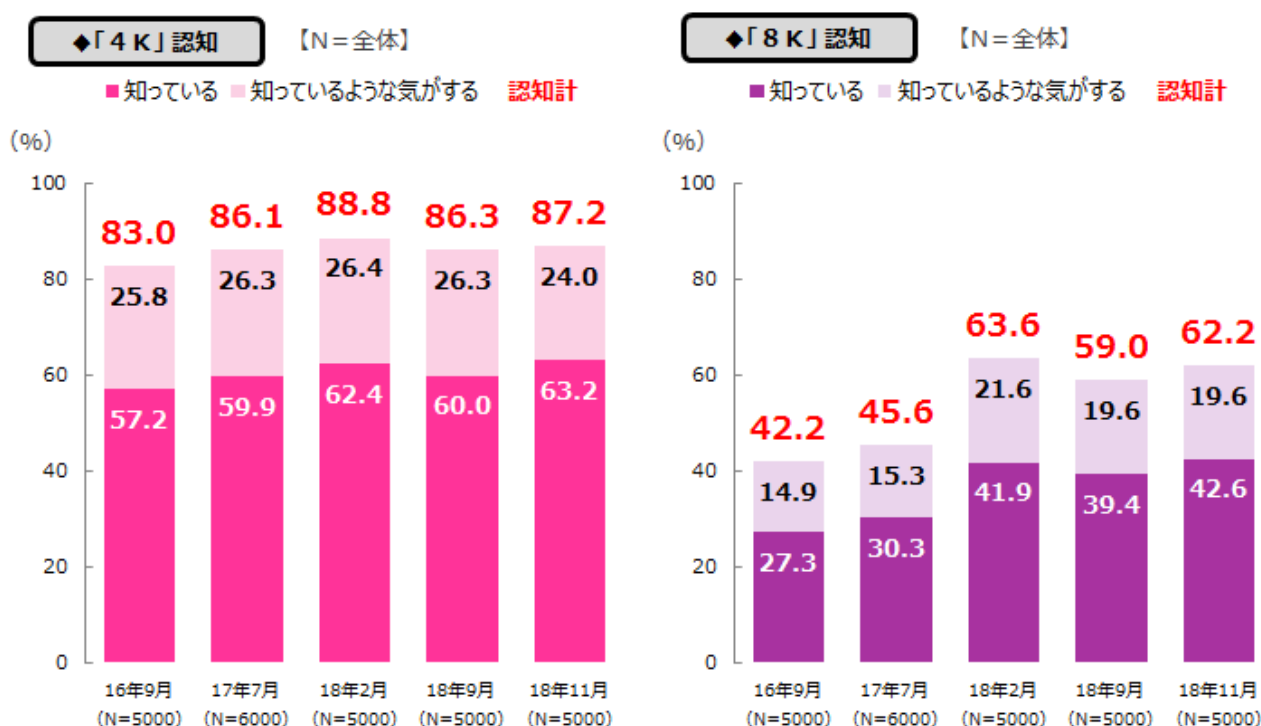
4K・8K 放送市場調査結果のまとめ

（2016年9月～2018年11月の5調査回分）

一般社団法人放送サービス高度化推進協会（東京都港区：理事長 福田俊男、以下 A-PAB）は、4K・8K 放送サービスならびにその関連事項について、一般の方々の認知・理解度を測る調査を2016年より定期的に実施してきました。今回は2016年9月から2018年11月の間に実施した5回の調査結果を時系列でまとめました。一部抜粋ではありますが、4K・8K 放送における認知・視聴意向・普及状況についてご紹介いたします。

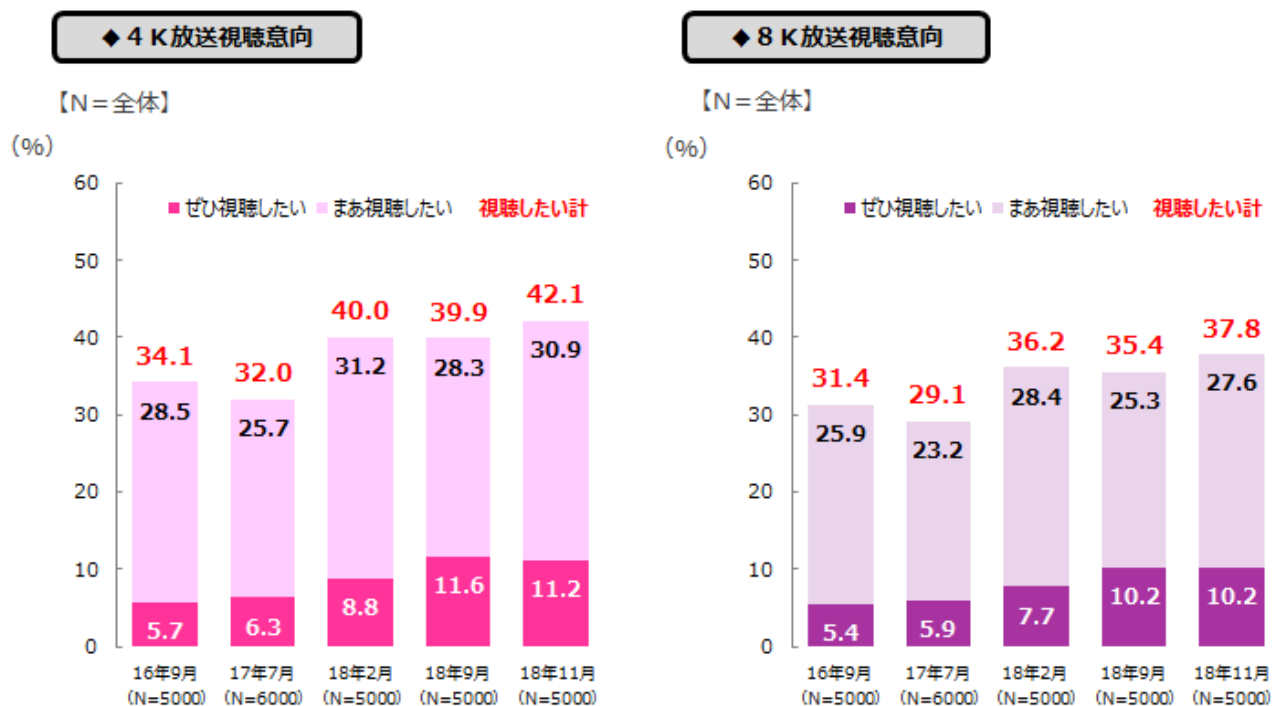
【4K・8K の認知状況】

「4K」「8K」という言葉の認知については、いずれも前々回、前回とほぼ同じという結果になっています。9割近くの方が「4K」という言葉を知っている（“気がする”を含む）と回答しており、2017年7月以降高止まりしています。また、「8K」という言葉について知っている（“気がする”を含む）人が約6割と、世の中に浸透してきている状況が伺えます。



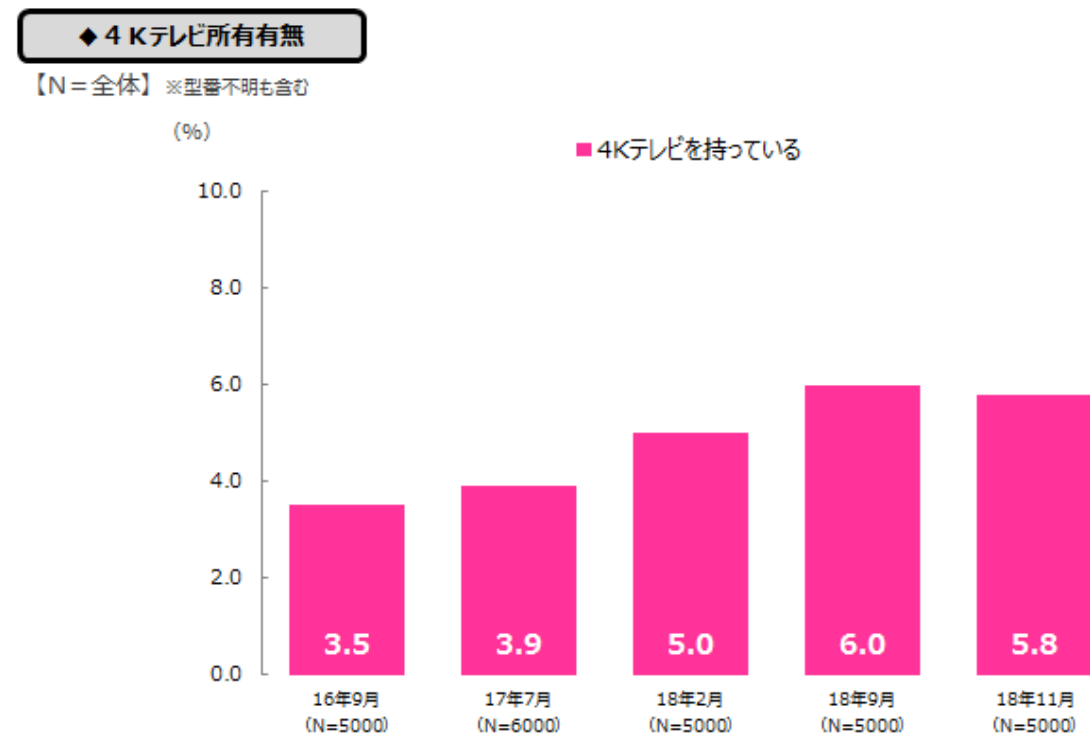
【4K・8K 放送の視聴意向】

4K8K 放送の視聴意向については、4K 放送を視聴したい人（ぜひ+まあ）は前回より増加し、全体の4割を超えています。「ぜひ視聴したい」は16年9月以降、徐々に増えています。8K 放送を「ぜひ+まあ）視聴したい」も16年9月以降、少しずつですが増加傾向です。



【4K・8K テレビの普及状況】

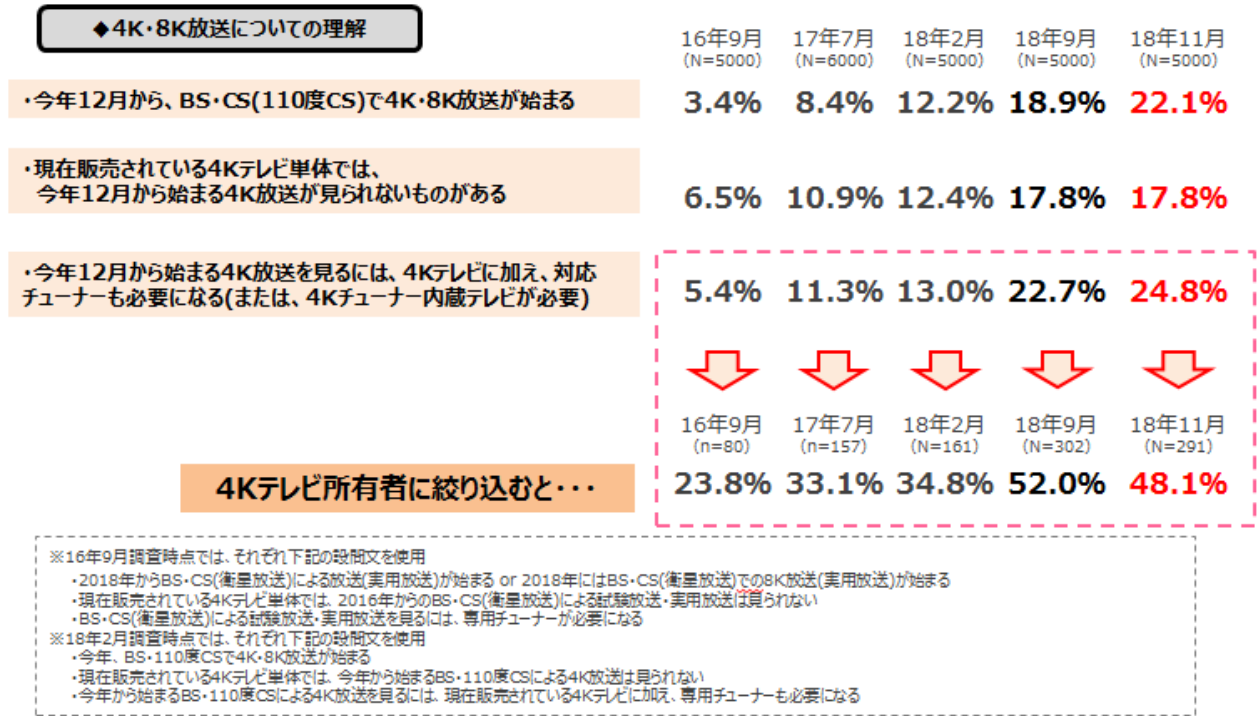
4K テレビ所有者の割合は2018年11月時点でほぼ前回と変わりません。16年9月以降でみると増加している傾向にあります。



【4K・8K 放送についての理解】

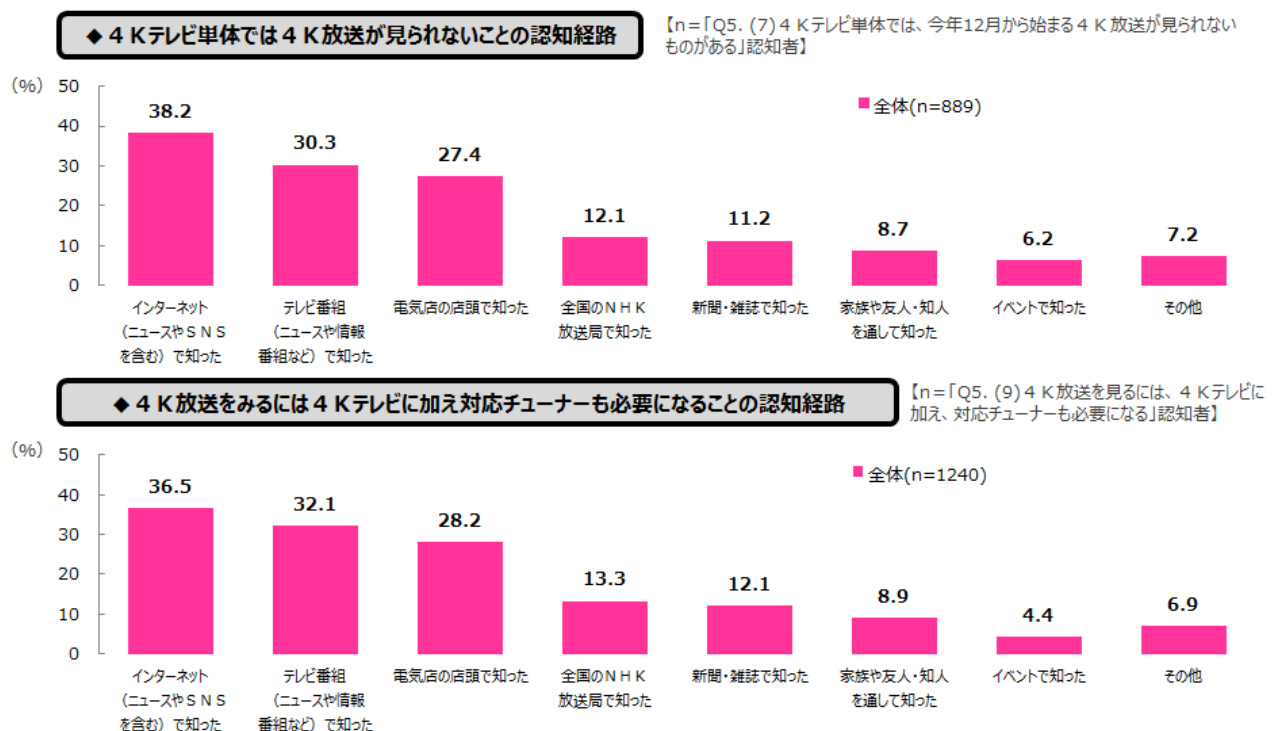
4K・8K に関しての詳しい理解についても時系列で取っています。下記の項目について理解している人が、それぞれ 2 割前後となっています。

また、「12 月から 4K・8K 放送が始まることを知っていた」人、「4 K 放送を見るには、対応チューナーまたは 4 K チューナー内蔵テレビが必要であることを知っていた」人は前回より増加し、「対応チューナーが必要」のほうは、ほぼ 4 人に 1 人という割合になりました。4 K テレビを持っている人に限ってみると、前回同様に約半数の人が理解しています。



【4K テレビについての情報入手経路】(新設質問)

4K テレビ単体では 4K 放送が見られないことや、対応チューナーが必要になることについての認知経路は、インターネット(ニュースや SNS 含む) が最も多く、次いでテレビ番組、電気店の店頭が多くなっています。



【調査概要】

- ◆調査手法 WEB 調査
- ◆調査対象エリア 全国 47 都道府県
- ◆調査対象者 上記エリアに居住する男女 20 歳～69 歳
- ◆サンプル数 計 5,000 サンプル（2017 年 7 月調査は 6,000 サンプル）

 ※住民基本台帳の性年代構成に基づいて割付
- ◆調査期間 2016 年 9 月調査 : 2016/9/17(土) ～ 9/19(月)

 2017 年 7 月調査 : 2017/7/29(土) ～ 7/30(日)

 2018 年 2 月調査 : 2018/2/3(土) ～ 2/4(日)

 2018 年 9 月調査 : 2018/9/29(土) ～ 9/30(日)

 2018 年 11 月調査 : 2018/11/10(土) ～ 11/11(日)

«本件に関するお問合せ»

一般社団法人 放送サービス高度化推進協会（A-P A B）

周知広報部 佐藤、重森 TEL 03（5785）3713